

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	9	
事業名	土地改良事業		会計	款	項	目
			一般	6	1	4
施策	5 賑わうまち		課名	産業課		
	5-1 働きがいのあるまちをつくる		係名	産業振興係		
	5-1-1 農業の振興					
主要施策						

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	①農業生産基盤の充実	目的 (対象がどのような状態になっているか)	主に農業用水利施設の維持管理、更新等を適切に実施することにより、将来に渡り安定して農業の振興を図ります。
事業内容	農業用施設維持管理事務 施設を計画的に維持及び補修、更新することにより、将来に渡り必要とする改修等の費用の平準化を図ります。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					45,855		45,702	22,550	
財源内訳	直接事業費 A				45,855		41,412	18,260	
	うち一般財源				32,433		13,222	10,632	
人件費(千円) B					0		4,290	4,290	
内訳	一般職員(人・千円)				0	0.65	4,290	0.65	4,290
	臨時職員(人・千円)				0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	各改良区への事業費等負担に係る適正な支出
②H30年度に実施した取り組み	県から土地改良と町に対して神田3期に向けた施設診断及び改修計画の提示と説明、第一及び第二土地改良区並びに神田土地改良区への事業費等負担	④今後の改善計画	補助の目的、支出根拠、負担割合などを明確にし、負担金か補助金どちらの支出が性質的に適正か判断し、必要となる協定又は規定により定義する。